

生野中学校区 学校適正配置検討会議

校名専門部会（第1回） 会議録

1 日 時 令和2年7月8日（水） 午後7時30分から

2 場 所 生野区役所5階 502会議室

3 出席者

（校名専門部会メンバー）

石川 隆久委員、金 賢一委員、大西 範幸委員、古瀬 浩久委員、

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）

（教育委員会事務局）

花月 良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、竹口 一吉

（学事課担当係長）

（生野区役所）

大川 博史（地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、竹中 一

郎（地域まちづくり課担当係長）、白石 秀一（地域まちづくり課係員）、西川 明宏（地域

まちづくり課係員）

（傍聴）なし

4 議題

（1）専門部会のスケジュール確認

（2）公募等のあった校名案の絞り込みについて

（3）その他

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【新井 志晶氏について】

（説明者：竹中地域まちづくり課担当係長）

- ・学校設置協議会のときより校名検討部会委員であった新井氏について、本日出席予定であったが、所用により欠席となった。本人には本日の検討内容については一任いただく旨、検討内容を本人あて報告することについて了承いただいた。

【金学校適正配置検討会議委員について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

- ・本日の校名専門部会より、生野中学校区学校適正配置検討会議委員として正式に金委員が加わったことを紹介した。

【公募等のあった校名案の絞り込みについて】

（説明者：竹口学事課担当係長）

- ・参考資料1および参考資料2に沿って説明。
- ・学校設置協議会開催時より公募等を行い、整理された校名案が69個ある。本日は校名専門部会としてこの校名案を元に10案まで絞り込みを行いたい。これまでの学校設置協議会では、これまでの学校名にとらわれない新しい名前をつけてはどうかという意見もあつ

たので、それらも考慮しながら校名案の絞り込みを進めていきたい。

(2) 意見等の概要

【公募等のあった校名案の絞り込みについて】

- ・次の3点をみなさんと共有しながら進めていきたい。
 1. 「名は体を表す」を基本とし、奇をてらうようなものとしなない。
 2. 意図せず略称ができてしまうため、そこにも配慮する。
 3. これまでの校名案検討の基準があったが、今一度フラットな視点でも検討する。
- ・「大阪市立」は頭に必ずつくのか。また「義務教育学校」は必須か。
→「大阪市立」は必ず校名の前につく。「義務教育学校」は必須ではない。
- ・都構想の動きがあると思うが、実現した際「都立」や「区立」となるのか、また、「生野」という名前はなくなるのか。
→「都立」「区立」については自治体により異なる。「生野」という名称がどうなるかは現時点では何も確定していない。
- ・小学校と中学校が1つになるため、「小学校」という表記があるものは候補から外してはどうか。
- ・10案まで絞るにあたり、公募等のあった原案に文言を追加したものを案の1つとすることはよいか。
→あくまで校名案の選定については「投票の結果を参考に」としているため、投票結果の表記そのままでなくてもよい。
- ・単語の順番が組み替わったような案を複数残さないようにしてはどうか。投票の際に票が割れてしまう可能性が考えられる。
- ・「生野義務教育学校」をベースにし、そこに文言を足してみてもどうか。例えば、「生野義務教育学校〇〇学園」など。
- ・頭に「大阪市立」がついて全体的に長くなる場合、表記する際に途中で改行が入ると思うが、その見た目のバランスにも気を配りたい。
- ・特定の地域だけを指すようなものは候補から外してはどうか。
- ・キーワードとして「生野」と「義務教育学校」を含む案が多いため、どちらかだけを含んでいる、両方を含んでいる、などで仕分けするのもよいかと思う。
- ・例えば、各校名案のキーワードを組み合わせるという手法も可能ではあるが。
- ・この場で複数のキーワードを組み合わせる校名案を作るのは困難かと思う。なぜその名前をつけたかという理由も必要だが、この場ですべてを決めることはできない。
- ・69案のなかで、各案のキーワードのイメージから判断していく、というのはどうか。
- ・別の団体や地名が連想されるような単語は避けたい。例えば、地元のクラブチームなどですでに使用されている名前など。
- ・乗り越えてきたことは大変素晴らしいが、過去の災害や争いを連想させるものは避けたい。
- ・小学生にとって難しい言葉は避けたほうがよいと思う。
- ・校名に入れる単語は、学校に求めるものや学校で育みたいものだと思う。そう考えると、求めるものが限定されるようなものはそぐわないのではないか。
- ・児童生徒に求めたいものは校訓で使用されていることが多い。もちろん、そういった単語

を校名にしている私立小学校や高校も存在している。ただ、あくまで、今回決めていく校名は、公立かつ地元根付く学校であることを意識したい。

- ・他校と名前が重複してはいけないか。
→大阪市内で重複していなければ問題ない。
- ・「義務教育学校〇〇学校」のように、学校という単語が2つ並ぶことは問題あるか。
→前半の「義務教育学校」は学校の種類を表しているため、名称としては問題ない。
- ・今回絞り込んだ案を次回の検討会議へ報告することになると思うが、その際には、絞り込んだ案に対して「これでよいか」の確認だけではなく、たとえば漢字を平仮名にしてみる、単語の並びを組み替えてみる、見た目や響きなどについて意見をもらうよう促し、さらに想像し、投票に向けた案を決めていけるような流れにしてほしい。
→次回の検討会議では、たとえば『「生野」という表記に関して平仮名にしてみてもどうか』など、具体的な投げかけを行うようにする。
- ・「生野」の表記一つについても、「生野」「いくの」「いく野」といった3パターンあるので、響きは同じだがそういったところも大切にしたい。

確認事項

- ・校名案を絞っていくなかで、次の点に留意しながら進める。
 - ・「名は体を表す」を基本とし、奇をてらうようなものとしなない。
 - ・意図せず略称ができてしまうため、そこにも配慮する。
 - ・これまでの校名案検討の基準があったが、今一度フラットな視点でも検討する。
 - ・固有名詞、特定の地域や出来事を連想させる表現は避ける。
 - ・目指す学校の姿が限定されるような表現とならないようにする。
 - ・単語の順番が組み替わったような案を複数残さない。
- ・検討の結果、次の7案を検討会議へ報告する。
 - ・生野義務教育学校（いくのぎむきょういくがっこう）
 - ・生野未来学園（いくのみらいがくえん）
 - ・大阪みらい学園義務教育学校（おおさかみらいがくえんぎむきょういくがっこう）
 - ・義務教育学校あじさい学園（ぎむきょういくがっこうあじさいがくえん）
 - ・義務教育学校いくの学園（ぎむきょういくがっこういくのがくえん）
 - ・新生教育学園（しんせいきょういくがくえん）
 - ・四ツ葉ぎむ教育学校（よつばぎむきょういくがっこう）
- ・校名専門部会より検討会議へ報告した校名案については、検討会議で確認し、7月下旬から8月中旬にかけて投票・集約を行う。
- ・次回の校名専門部会において、投票結果を参考に校名案を選定していくが、公募等のあった校名案をそのまませず「音の響き」「見た目」「漢字にするか平仮名にするか」など、原案に対し組み合わせを変えてみるなども検討する。

6 会議資料

- ・生野中学校区 校名専門部会（第1回）次第
- ・議事資料 校名専門部会議事資料

- ・参考資料1 新しい学校の校名検討資料
- ・参考資料2 新しい学校の校名検討資料2
- ・参考資料3 新しい学校の名前をみんなで投票しよう！